

平成24年度総務企画委員会行政視察報告

1. 視察期間

平成24年7月31日

2. 視察先

仙台市鉤取ニュータウン町内会

3. 視察項目

町内会組織力の強化について

4. 視察の目的

調査項目の調査研究のため、活発な町内会活動で組織の強化を図っている仙台市鉤取ニュータウン町内会の視察を行った。

5. 視察の内容

ア、概要

○鉤取ニュータウン町内会の取り組み

- ・ 防災倉庫の設置、災害弱者住居マップの作成、地域での交流会の実施など町内会長を中心に住民一丸となって活動を行っている。

イ、効果及び課題

○下記の3点が今後の地域力の向上に向けた取り組みと考える。

- ・ リーダー養成の必要性

京谷町内会長のリーダーシップによるところが大きい。専門的知識もあり町民の信頼を得て事業を推進している。

- ・ コミュニティの大切さ

防災のベストを町内活動で着用している。このことは安否確認で訪問する際町民に安心感を与えると共に、防災意識を高めること、連帯意識を持つことなどの効果がある。

- ・ 事業の継続性

長年の事業継続で「自分の地域は自分で守る」ことが町民に浸透している。

6. 考察

- ・ 高山市では町内会単位で自主防災組織を立ち上げている。自主防災組織を充実させることが町内会活動の活性化と地域力の向上につながる一つと考える。
- ・ 高山市における町内自主防災組織は各町内に100%設置されているが、その防災意識や活動について十分とは言えない今、強いリーダー養成の必要性と市民の防災への意識改革を進め、一層の防災活動の充実を図る必要がある。
- ・ 地域(町内)に防災のリーダーが必要であり、行政として防災士(仮称)の養成などについて計画的に進める必要がある。

平成24年度総務企画委員会行政視察報告書

1. 視察期間

平成24年8月1日

2. 視察先

新潟県上越市

3. 視察項目

地域自治区について

4. 視察の目的

高山市地域審議会の設置期間は平成17年2月1日～平成27年3月31日となっていることから、平成27年度からの全地域における協働のまちづくりに着手しなければならない。その調査研究のために先進地である上越市のまちづくり体制の視察を行った。

5. 視察内容

ア. 概要

上越市自治地域振興課より、地域自治区設置までの過程など地域自治区全般について説明を受ける。その中の地域協議会の制度上の位置付けは、市長の附属機関であり、協議事項は、市長から意見を求められた案件、区内の公共施設の設置や管理・運営など身近な暮らしの課題から、地域特性をいかしたまちづくりのあり方まで幅広いものである。

イ. 効果

公募公選を取り入れるなど住民に開かれた協議会である。又、協議会が広報を発行するなど協議会の内容が良くわかるあり方であり、今後のまちづくりの考え方として参考にし、取り入れていくべき箇所を調査していく。

ウ. 課題

旧上越市の15区からは、十分な理解を得ていない。町内会・議員との連携が今後の課題である。

6. 考察

地域住民の声を行政に反映するには、「自らのまちは自らの手で」創る強い意識である。個人が参画して物事に携われる組織づくりが必要である。